

番号	6		平成26年度公共事業再評価調書		担当室名 河川海岸整備課	
事業名	総合治水対策特定河川事業			事業主体	静岡県	
箇所名	二級河川 <sup>ともえがわ</sup> 巴川 (第Ⅱ期計画)			関係市町村	静岡市	
事業採択年度	平成11年度		計画期間	平成11年度 ~ 平成40年度		
用地着手年度	平成12年度		工事着手年度	平成13年度		
再評価理由※	整備計画報告 (H21) 後5年が経過					
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~H24年度	H25年度	H26年度見込	計
	45,292		23,789	311	1,029	25,129
事業概要	<p>(1)事業目的 巴川の改修、大谷川放水路及び大内・麻機遊水地の建設を3本柱とする総合治水対策を実施し、年超過確率1/10の降雨(時間雨量69ミリ)による洪水を安全に流下させ、巴川流域の浸水被害軽減を図る。</p> <p>(2)事業内容 ・麻機遊水地 第1工区 面積 21.7ha、第2-1工区 面積 51.0haの築造 ・大谷川放水路 延長 6,300mの護床工</p>					
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 巴川は狭窄部の560mと河口部の2,100mの改修、大谷川放水路は護岸工6,300m、大内遊水地と麻機遊水地の第3~4工区を整備し、第1期計画(年超過確率1/5、時間雨量58ミリ対応)が平成16年度に完了した。現在は、第2期計画を進めており、治水施設や流域対策の効果が現れているものの、都市部として十分な治水安全度に達していない。 近年頻発する局所的な集中豪雨や、土地利用の変化や地形的要因による浸水被害形態の複雑化に対応するため、総合治水対策の必要性は一層高まっており、地元の事業に対する要望は強く、当該事業に対する期待度は極めて高い。</p> <p>(2)事業の投資効果 B/C = 5.11</p> <p>(3)事業の進捗状況 麻機遊水地第1工区は完了し、現在は、第2-1工区の用地買収および暫定掘削工を実施中である。大谷川放水路は、3,738mの護床工が完了している。なお、平成21年4月には、内水対策や流域対策を強化できる特定都市河川浸水被害対策法に指定され、流域一帯となった総合治水対策を実施している。</p> <p>進捗率 55.5% (平成26年度見込み: 25,129百万円/45,292百万円)</p>					
事業の必要性	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
【視点2】	<p>麻機遊水地第2-1工区は、加藤島、安東川、豊地、立石の4エリアに分け、段階的な整備を進めている。現在は、整備効果の高い加藤島、安東川エリアの用地買収を先行しており進捗は95% (面積比) となっており、引き続き残りの地権者との用地交渉を進め、早期完成を目指している。</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
【視点3】	<p>・放水路の通水や遊水地の暫定供用など、段階的整備により早期効果発現を図る。 ・遊水地の整備にあたって、掘削により生じる発生土は、築堤材等に有効利用するなど、コスト削減に努めていく。</p>					
新たなコスト削減・代替案立案等の可能性						
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し後継続 <input type="radio"/> 中止 ) する。</p> <p>(2)理由 事業は進捗しており、費用対効果も認められる。地域住民の期待は大きく、浸水被害を解消するため事業継続とする。</p>					

## 費用対効果算出説明書

### 二級河川 巴川(第Ⅱ期計画)

(「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省河川局 平成17年4月)

#### 総括表

総便益 B	[治水事業を実施しない場合の被害額]－[治水事業を実施した場合の被害額] +[施設の残存価値] ※ 現在価値化後	287,965百万円
総費用 C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費] ※ 現在価値化後	56,352百万円
B/C		5.11

#### 総便益

○治水事業の有無による被害額の差分  
年平均被害軽減期待額を社会的割引率4%、評価対象期間80年(整備期間30年+50年)とし、現在価値化する。

○施設等の残存価値  
評価期間末における施設等の残存価値を社会的割引率4%で現在価値化する。

総便益

$$\begin{aligned}
 B &= \Sigma \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n + \text{評価期間末残存価値} / (1+0.04)^n \\
 &= 286,347 \text{百万円} + 1,618 \text{百万円} \\
 &= 287,965 \text{百万円}
 \end{aligned}$$

※ 被害額は洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設などの被害額と営業停止損失、家庭・事業所における応急対策費用である。

※ 年平均被害軽減期待額は洪水の生起確率を生起確率別被害軽減額に乘じ、計画対象規模まで累計することにより算出する。

※ 整備期間中の便益は、事業費に比例して発生するものとする。

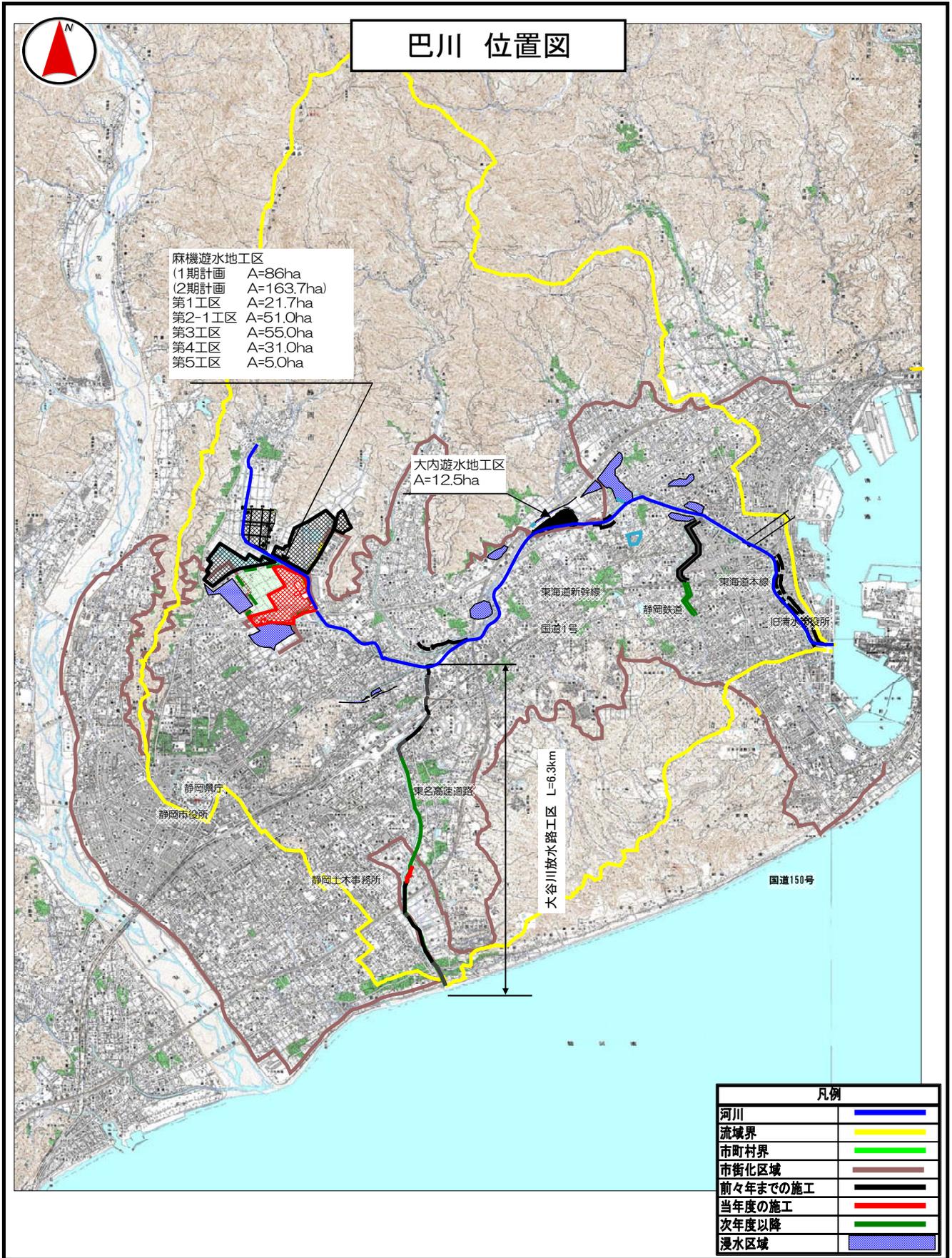
#### 総費用

○事業建設費  
各年の事業建設費を社会的割引率4%で現在価値化する。

○評価期間内に必要な維持管理費  
各年の維持管理費を社会的割引率4%で現在価値化する。  
建設費の0.5%/年、評価対象期間:80年

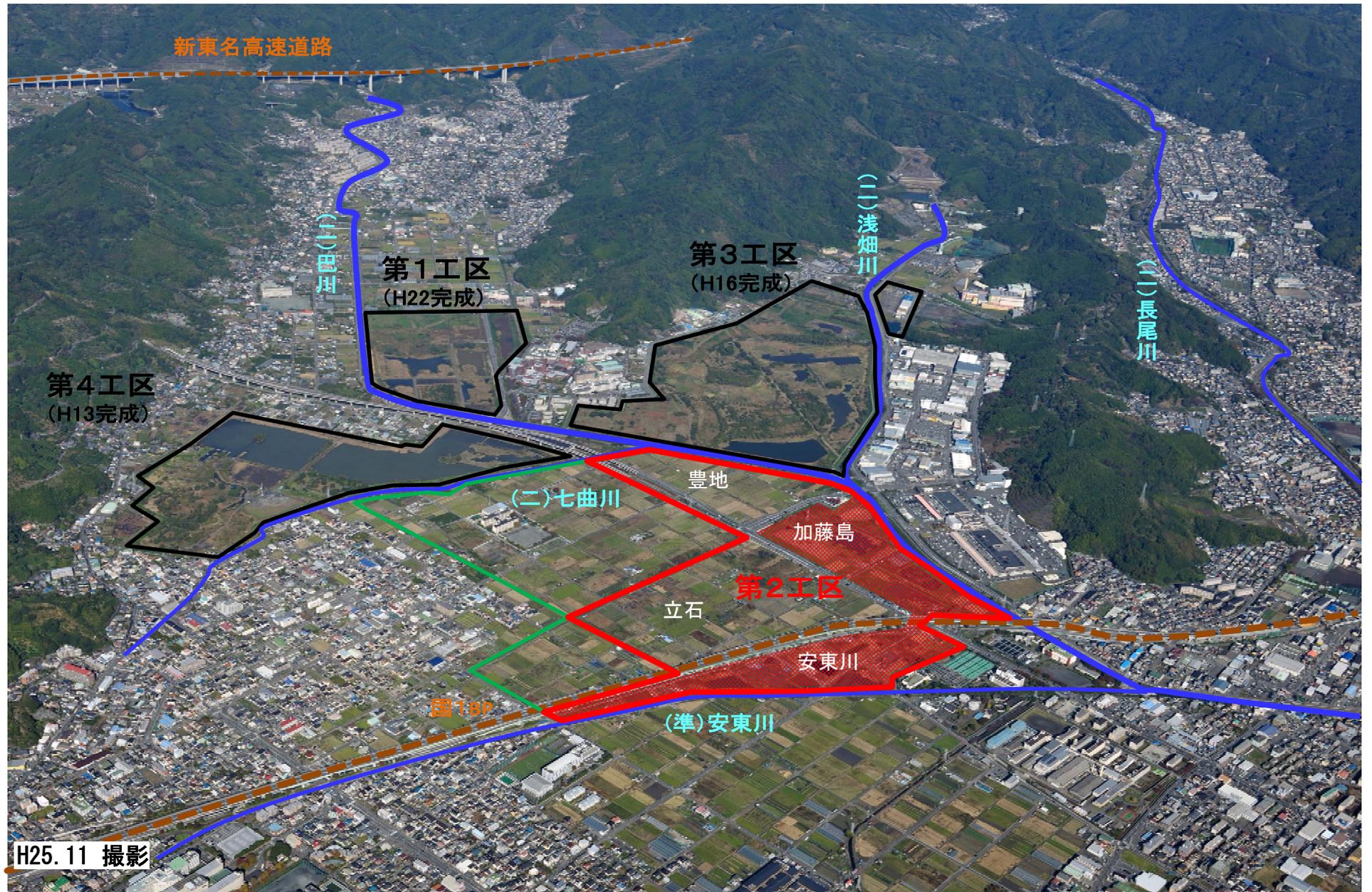
総費用

$$\begin{aligned}
 C &= \Sigma \text{各年事業建設費} / (1+0.04)^n + \Sigma \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\
 &= 50,345 \text{百万円} + 6,007 \text{百万円} \\
 &= 56,352 \text{百万円}
 \end{aligned}$$





麻機遊水地現況写真(航空写真)



## 麻機遊水地現況写真



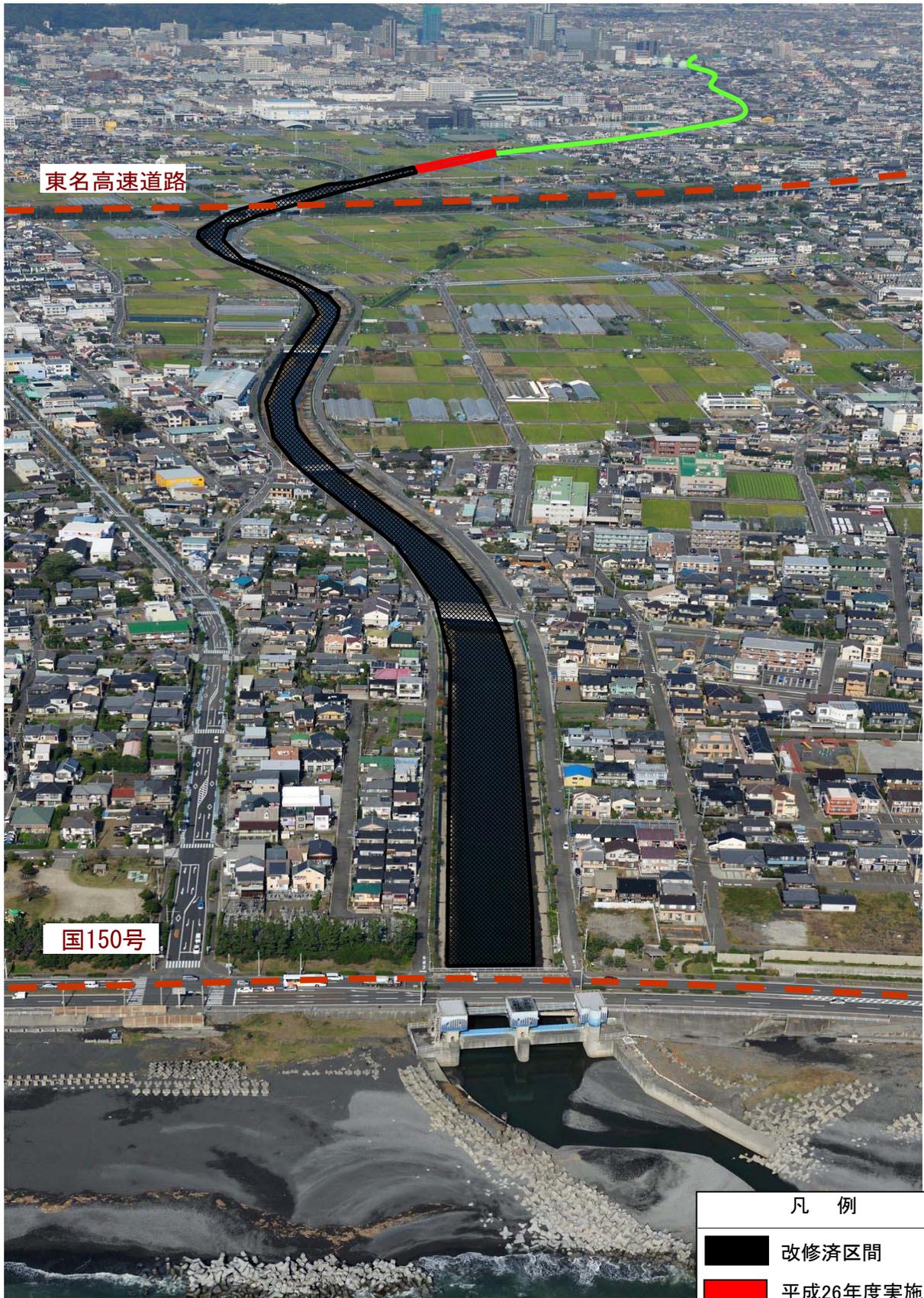
麻機遊水地第3工区の供用状況  
(平成16年6月30日豪雨)

## 麻機遊水地現況写真



麻機遊水地第1工区の供用状況  
(平成23年9月5日台風22号)

# 大谷川放水路現況写真



H25.11 撮影

## 大谷川放水路現況写真（護床工実施前）

大谷川放水路（駿河区水上）



## 大谷川放水路現況写真（護床工実施後）

